

# 是正指導 20年 —広島県教育の現在地—

■ 中 ■

月、正式な教科に格上げされた。この日の授業は、文部科学省が学習指導要領で示す教えるべき価値の一つ「相互理解、寛容」について、理解を深める狙いだっ

た。太枝教諭は「自分ならどうするか。児童が実際の生活に重ねて考えられる進め方を意識した」と語る。

## 指導計画を提出

は1998年5月20日、広島県内の市町教委で唯一、県教委とも

の「道徳の時間が『人権』などの名称になつてい」教えられる」と強調する。

学2年男子がいじめを苦に自殺。事態を重くみた政府の教育再生実行会議が教科化を提言した。中教審も14年10月に答申し、ことし4月から小学校、来年4月から中学校での実施が決定。文科省の教科書検定では小学校8社と中学校8社の教科書会社が全て、いじめに関する内容を扱った。

# 心育むバランス模索

## 国の価値観強要懸念も

「理由も聞かずに怒るなんて、こう太は優しくもない」でも、遅刻したかずやも悪い」。福山市の津之郷小で15日、4年生の39人が道徳の授業で盛んに意見を交わしていた。担任の太枝健太郎教諭(33)が問い掛けた。「じゃあ、こう太はどうすれば優しい行動になったと思う?」。一瞬、教室内が静かになった後、再び子どもの手が挙がった。

に文部省(現文部科学省)から是正指導を受けた。当時を知る元県教委幹部は「道徳の時間の大半を、同和教育に充てる学校が存在した」と話す。

一定の成果を上げた」とり、「人権とは何か」を心から学び取っていく教育が必要だ」と訴える。

いじめきつかけ

ただ、教科化には「国が示す価値観を押し付けられるリスクが強まる」と懸念する声も、今も根強い。他の教科と違い、教員が子どもを数値でなく記述式で評価するため、その方法も模索している。是正指導から15年後に教員となった津之郷小の太枝教諭は、自問自答を続ける。「どうすれば児童一人一人の心の成長を的確に捉えられるだろう」

## 道徳



道徳の授業で意見を交わす津之郷小4年の児童(福山市)

道徳の教科化 2015年3月に学習指導要領の一部が改正され、それまでは教科外の活動だった「道徳の時間」が「特別の教科道徳」と位置付けられた。小学校ではことし4月、中学

校では来年4月から、正式な教科として授業がある。授業時間数は小中学校ともこれまで通り年間35時間。ほかの教科と違い、教員による評価は数値ではなく、授業中の会話や姿勢、感想文などから子どもの成長ぶりを文章で記述するため、「特別の教科」とされた。

「特別の教科」とされた。

(教蓮孝匡)

中国総合格